

方剂名	効能	生薬組成
書籍	主治および証	病機 方意
和解剤 調和脾胃剤 1		
はんげしやしんとう 半夏瀉心湯	開結除痞・調和脾胃・寒熱併調	半夏 9g・黄芩・乾姜・人参・炙甘草各 6g・黄連 3g・大棗 4g 水煎し服用する。
傷寒論	<p><主治> 脾胃不和 心窩部が痞えて脹る、悪心、嘔吐、腹鳴、下痢、舌苔が薄黄で膩などを呈す。</p> <p><病機> 脾胃の昇降の気機が心下で結し、「心下痞」と昇降失調がみられる病態である。 半夏半裏証に対して下法を用いたために邪が心下に陥入し、心下で無形の気機痞結が生じ、陽熱は下達が阻まれて上で鬱し、下では陽熱の温煦が得られないために、上熱下寒という寒熱錯雑が生じると共に、胃熱と脾寒による昇降失調がみられる。このほか、胃熱のものが生冷物、苦寒薬などを摂取して脾陽を損傷し、胃熱と脾寒が心下で互結するか、湿熱の感受や脾虚生湿、化熱によって湿熱が脾胃の気機を阻滞し、脾胃の昇降が失調して心下で気結を生じることもある。 心下で無形の気機痞結があるために心窩部の痞えや膨満感が生じるが、実邪の結滞ではないので圧すると軟らかく痛みも伴わない。胃熱や湿阻により胃気不降になり、濁陰が上逆すると悪心、乾嘔、嘔吐などが生じ、脾寒や脾湿で清気不昇になり下泄すると腹鳴、下痢が発生する。湿熱による場合には、舌苔が黄膩を呈する。</p> <p><方意> 寒熱併調、補瀉兼施し、辛開苦降により心下気機痞結を開通する。 辛散の半夏・乾姜と、苦降の黄芩・黄連により、辛開苦降して心下痞結を開散する。辛熱の乾姜で下寒を温め、苦寒の黄芩・黄連で上熱を清する。また、降逆の半夏で胃気上逆を鎮め、益気健脾の人参・炙甘草・大棗で脾昇を強める。全体で痞結を開通し寒熱、昇降を調和させることができ、症候は自然に消退する。 湿熱阻滞に対しては、辛温薬により苦寒薬の寒性を緩和し、清熱燥湿に働いて脾陽を損傷せず、辛散による過度の燥性を潤性の人参・炙甘草・大棗で緩和しているので、全体で脾胃の湿熱を解消する効能が得られる。</p> <p><参考> 半夏半裏証（柴胡証）に対して瀉下という誤治を行なった後、心下胸脇で有形の水湿と熱邪は結した「水熱結胸」には大陷胸湯を用いるが、心下で無形の気機痞結が生じた「痞」には半夏瀉心湯を用いる。邪が心下に陥入しているので、小柴胡湯では透解することはできない。</p> <p>日本での保険適応効能、効果 みぞおちが痞え、ときに悪心、嘔吐があり食欲不振で腹が鳴って軟便または下痢の傾向のあるものの次の諸症；急・慢性胃腸カタル、発酵性下痢、消化不良、胃下垂、神経性胃炎、胃弱、二日酔い、げっぷ、胸やけ、口内炎、神経症</p>	
しょうきょうしやしんとう 生姜瀉心湯	和胃消痞・散結除水	半夏瀉心湯の乾姜を 3g に減じ + 生姜 12g 水煎し服用する。
傷寒論	<p>表証に対して発汗法を行ったが、汗の出させ方が適切でなかったために、邪が心下に陥入すると共に、脾寒によって水湿停留から飲を生じたもので、飲が腸に下注すると腹中雷鳴、下痢が生じ、胃気下降で食滯を伴うと腐臭のある暖気のみられる。 大量の温陽散水の生姜で温脾し水飲を除き、乾姜を減量することにより寒涼薬との均衡をとっている。</p>	
かんぞうしやしんとう 甘草瀉心湯	益気和胃・消痞止嘔	半夏瀉心湯 一人参 + 炙甘草を 12g にする。 水煎し服用する。
傷寒論	<p>表証を誤下して邪が心下に陥入し「痞」を生じると共に、中陽を損傷して不消化下痢、腹鳴がみられ、胃気が虚して上逆するために心窩部が硬く痞えて心下虚満となり、気は上衝して心煩、不安、不眠、ノイローゼギミになる。腹中雷鳴、心下痞硬、嘔吐は、三瀉心湯同様存在するもので、目標は下痢と心煩が対象となる。心下虚満を熱結と間違えて瀉下するとよけいに悪化する。 三瀉心湯中、最も虚したものに適し、心身共に弱くしかも神経質タイプに用いる。 炙甘草を大量に用いて、中虚を補い下痢を緩和する。 方中に人参が無いのは、脱落であると考えられているが、「心煩し安んずるを得ず」という胆火の影響と考えられる症状もあるために、壅滞を促進する恐れがある人参が除去されているとみなすこともできる。</p>	
半夏瀉心湯去人参乾姜甘草加枳実杏仁方	燥湿清热・化痰行気	半夏 30g・黄連 6g・黄芩 9g・枳実 6g・杏仁 9g 水煎し服用する。
温病条弁	<p>主治は、暑温の湿熱挟痰、痞阻心下で、発熱、口渴があり水分を欲しない、心窩部が痞えて脹り圧しても軟らかく痛みがない、食欲不振、時に悪心、便秘、舌質が紅、舌苔が白膩で滑、脈が滑数などを呈するもの。 夏期に暑湿の侵襲を受け、脾運と胃降が阻害されて痰濁が内生した状況である。心下痞満と大便数日不下は、湿熱痰濁が気機を阻滞したために生じる。 本方（半夏瀉心湯去人参乾姜甘草加枳実杏仁方）は、半夏瀉心湯から甘温壅補の人参・甘草・大棗と、辛熱の乾姜を除き、苦温であるが燥湿化痰、和胃降逆に働く半夏を大量に用いて中焦の痰濁を除く。 苦寒で清熱燥湿の黄芩・黄連を増量し、半夏の辛熱を抑えて燥湿を強め、更に辛開苦降する。苦寒の枳実で行気破氣し、杏仁で宣肺降氣し、化痰祛湿の効能を強めている。</p>	